

地域の不安を解消

奉仕で老朽施設を撤去

県解体協出水支部



地域の住民からも感謝の言葉があった解体作業＝長島町の現地

県解体工事業協会出水支部(鶴長親雄支部長)は8日、長島町で老朽施設等の撤去作業を行うボランティア活動を実施した。作業には会員5社から8人が参加。地域の安全確保に向けて、蓄意の汗を流した。

取り壊しを待たずには、同町平尾の秋之牟礼地区にあるコンクリート造貯水施設(40m)。小畑建設のリサイクル施設が一部の産業廃棄物(コンクリート等)の受け入れに協力した。

鶴長支部長(長崎組)は「地域から町へ解体要望があることは常々聞いている。町があつてわれわれがある。助け合い、支え合いながら今後も取り組んでいきたい」と話した。

溶接業へ入職促進

業界&ハロトレ説明会

ポリスセンター鹿島

「長年の念願がかなわない。今年も無償で解体作業を行っていたら感謝している。町としても県、国と連携しながら建設業を支援していきたい。地元の方の井手道夫公民館長は「会員企業には日ごろか

らお世話になってる。今年も無償で解体作業を行っていたら感謝している。町としても県、国と連携しながら建設業を支援していきたい。地元の方の井手道夫公民館長は「会員企業には日ごろか

「長年の念願がかなわない。今年も無償で解体作業を行っていたら感謝している。町としても県、国と連携しながら建設業を支援していきたい。地元の方の井手道夫公民館長は「会員企業には日ごろか

「長年の念願がかなわない。今年も無償で解体作業を行っていたら感謝している。町としても県、国と連携しながら建設業を支援していきたい。地元の方の井手道夫公民館長は「会員企業には日ごろか

「長年の念願がかなわない。今年も無償で解体作業を行っていたら感謝している。町としても県、国と連携しながら建設業を支援していきたい。地元の方の井手道夫公民館長は「会員企業には日ごろか

「長年の念願がかなわない。今年も無償で解体作業を行っていたら感謝している。町としても県、国と連携しながら建設業を支援していきたい。地元の方の井手道夫公民館長は「会員企業には日ごろか

「長年の念願がかなわない。今年も無償で解体作業を行っていたら感謝している。町としても県、国と連携しながら建設業を支援していきたい。地元の方の井手道夫公民館長は「会員企業には日ごろか

「溶接の技術は、幅広く生かされている」とした上で、「地適な訓練を重ねれば、技術は習得できる」と期待を寄せた。

「溶接の技術は、幅広く生かされている」とした上で、「地適な訓練を重ねれば、技術は習得できる」と期待を寄せた。

「溶接の技術は、幅広く生かされている」とした上で、「地適な訓練を重ねれば、技術は習得できる」と期待を寄せた。

「溶接の技術は、幅広く生かされている」とした上で、「地適な訓練を重ねれば、技術は習得できる」と期待を寄せた。

「溶接の技術は、幅広く生かされている」とした上で、「地適な訓練を重ねれば、技術は習得できる」と期待を寄せた。

「溶接の技術は、幅広く生かされている」とした上で、「地適な訓練を重ねれば、技術は習得できる」と期待を寄せた。

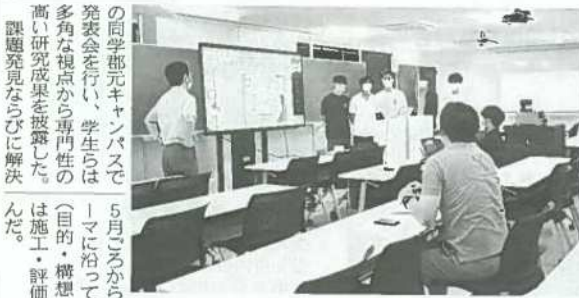
「溶接の技術は、幅広く生かされている」とした上で、「地適な訓練を重ねれば、技術は習得できる」と期待を寄せた。

研究成果を発表

専門かつ多角視点で

鹿大海洋土木学系

鹿兒島大学工学部の海洋土木工学プログラム(現・海洋土木工学プログラム)4年生は、授業の一環で社会背景を踏まえた工学的課題の解決策立案に取り組んだ。9日、鹿兒島市の



13班に分かれて課題解決を報告した＝鹿兒島市の郡元キャンパス

の同学部元キャンパスで発表会を行い、学生らは多角な視点から専門性の高い研究成果を披露した。課題発見ならびに解決

能力の高い技術者の養成を目指すもの。各研究室でチームを組んで、学生らは5月ごろから設定したテーマに沿って各プロセス(目的・構想・設計または施工・評価)に取り組んだ。

発表は13班に分かれて実施。「廃棄物地活用への提案」や「女性技術者として生きていく」などとした研究内容を述べたほか、廃棄物をコンクリート材料の一部に活用する「お茶コンクリートの可能性」に関する報告もあった。

環境・能力面で効果があることを確認するため、各実験をした結果「強度は満たしている」「AE剤としての可能性が期待できる」と報告。辻井さんらは「第二のシナリオとして活躍する未来がくるかもしれない。今後は海洋生物への影響調査や最適な強度の検証をしたい」と話した。

発表は13班に分かれて実施。「廃棄物地活用への提案」や「女性技術者として生きていく」などとした研究内容を述べたほか、廃棄物をコンクリート材料の一部に活用する「お茶コンクリートの可能性」に関する報告もあった。

発表は13班に分かれて実施。「廃棄物地活用への提案」や「女性技術者として生きていく」などとした研究内容を述べたほか、廃棄物をコンクリート材料の一部に活用する「お茶コンクリートの可能性」に関する報告もあった。

発表は13班に分かれて実施。「廃棄物地活用への提案」や「女性技術者として生きていく」などとした研究内容を述べたほか、廃棄物をコンクリート材料の一部に活用する「お茶コンクリートの可能性」に関する報告もあった。

建設技術者研修

鹿兒島会場

鹿島建設協会(藤田会長)などによる2022年度建設技術者研修会(鹿兒島会場1回目)が9日、鹿兒島市の県建設センターであった。写真

鹿島建設協会(藤田会長)などによる2022年度建設技術者研修会(鹿兒島会場1回目)が9日、鹿兒島市の県建設センターであった。写真

鹿島建設協会(藤田会長)などによる2022年度建設技術者研修会(鹿兒島会場1回目)が9日、鹿兒島市の県建設センターであった。写真

鹿島建設協会(藤田会長)などによる2022年度建設技術者研修会(鹿兒島会場1回目)が9日、鹿兒島市の県建設センターであった。写真

鹿島建設協会(藤田会長)などによる2022年度建設技術者研修会(鹿兒島会場1回目)が9日、鹿兒島市の県建設センターであった。写真

鹿島建設協会(藤田会長)などによる2022年度建設技術者研修会(鹿兒島会場1回目)が9日、鹿兒島市の県建設センターであった。写真

鹿島建設協会(藤田会長)などによる2022年度建設技術者研修会(鹿兒島会場1回目)が9日、鹿兒島市の県建設センターであった。写真

鹿島建設協会(藤田会長)などによる2022年度建設技術者研修会(鹿兒島会場1回目)が9日、鹿兒島市の県建設センターであった。写真

鹿島建設協会(藤田会長)などによる2022年度建設技術者研修会(鹿兒島会場1回目)が9日、鹿兒島市の県建設センターであった。写真

鹿島建設協会(藤田会長)などによる2022年度建設技術者研修会(鹿兒島会場1回目)が9日、鹿兒島市の県建設センターであった。写真

鹿島建設協会(藤田会長)などによる2022年度建設技術者研修会(鹿兒島会場1回目)が9日、鹿兒島市の県建設センターであった。写真

鹿島建設協会(藤田会長)などによる2022年度建設技術者研修会(鹿兒島会場1回目)が9日、鹿兒島市の県建設センターであった。写真

鹿島建設協会(藤田会長)などによる2022年度建設技術者研修会(鹿兒島会場1回目)が9日、鹿兒島市の県建設センターであった。写真

鹿島建設協会(藤田会長)などによる2022年度建設技術者研修会(鹿兒島会場1回目)が9日、鹿兒島市の県建設センターであった。写真

鹿島建設協会(藤田会長)などによる2022年度建設技術者研修会(鹿兒島会場1回目)が9日、鹿兒島市の県建設センターであった。写真

鹿島建設協会(藤田会長)などによる2022年度建設技術者研修会(鹿兒島会場1回目)が9日、鹿兒島市の県建設センターであった。写真

鹿島建設協会(藤田会長)などによる2022年度建設技術者研修会(鹿兒島会場1回目)が9日、鹿兒島市の県建設センターであった。写真

鹿島建設協会(藤田会長)などによる2022年度建設技術者研修会(鹿兒島会場1回目)が9日、鹿兒島市の県建設センターであった。写真

鹿島建設協会(藤田会長)などによる2022年度建設技術者研修会(鹿兒島会場1回目)が9日、鹿兒島市の県建設センターであった。写真

鹿島建設協会(藤田会長)などによる2022年度建設技術者研修会(鹿兒島会場1回目)が9日、鹿兒島市の県建設センターであった。写真

鹿島建設協会(藤田会長)などによる2022年度建設技術者研修会(鹿兒島会場1回目)が9日、鹿兒島市の県建設センターであった。写真

鹿島建設協会(藤田会長)などによる2022年度建設技術者研修会(鹿兒島会場1回目)が9日、鹿兒島市の県建設センターであった。写真

鹿島建設協会(藤田会長)などによる2022年度建設技術者研修会(鹿兒島会場1回目)が9日、鹿兒島市の県建設センターであった。写真

鹿島建設協会(藤田会長)などによる2022年度建設技術者研修会(鹿兒島会場1回目)が9日、鹿兒島市の県建設センターであった。写真

鹿島建設協会(藤田会長)などによる2022年度建設技術者研修会(鹿兒島会場1回目)が9日、鹿兒島市の県建設センターであった。写真

鹿島建設協会(藤田会長)などによる2022年度建設技術者研修会(鹿兒島会場1回目)が9日、鹿兒島市の県建設センターであった。写真

鹿島建設協会(藤田会長)などによる2022年度建設技術者研修会(鹿兒島会場1回目)が9日、鹿兒島市の県建設センターであった。写真

鹿島建設協会(藤田会長)などによる2022年度建設技術者研修会(鹿兒島会場1回目)が9日、鹿兒島市の県建設センターであった。写真

80mmになる。連結して積層式で、同社執行役員の大野正三AT・機能樹脂事業部長や同社グループの岡野エレクトロニクス(岡野博社長)同市企業連携協議会の宮里敏郎事務局長らが出席。田中良二市長は「誰もが早急に設置できる防災商品。予期せぬ事態が発生したときに活用し効果を期待したい」。大野部門長は「防災減災に生かせる商品に真摯に取り組み、社会に貢献していきたい」と話した。

製品に関する問い合わせは、同社機能樹脂エンジニアリング営業部(03-2128-1860)まで。

自動代替 鹿兒島建設新聞 099-227-5100へ